ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
E132F003	社会科授業研究（中等） I (Studies in Teaching of Social Studies I (Junior High School))		対面

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
選択	2	3	教育学部 ≪令和２年度以降入学生用≫		木2	日本語		単独

担当教員	氏名　渡邊　大貴 E-mail　watanabe-hiroki@oita-u.ac.jp　内線
授業の概要	中学校社会科に焦点を当て、社会科教育学の基礎理論に関する専門的理解を身につけ、授業を分析でき、授業理論を構築できる能力を身につける。この授業では、中学校社会科の授業づくりと評価問題づくり、及びプレゼンテーションに取り組む。

具体的な到達目標		DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	中学校社会科の基本的事項を理解できる。		○						
目標2	中学校社会科の授業を分析・研究できる。			○					
目標3	中学校社会科の授業理論を構築できる。				○				
目標4	中学校社会科の授業及び評価問題を構想し、プレゼンテーションできる。				○				
目標5									
目標6									
目標7									
目標8									
目標9									
目標10									
	各DPへの関連度（計10）		3	3	4				

授業の内容

1	オリエンテーション
2	中学校社会科授業の基礎理論の研究１－社会科の授業原理
3	中学校社会科授業の基礎理論の研究２－学習指導要領とその背景
4	中学校社会科授業の基礎理論の研究３－教材研究①
5	中学校社会科授業の基礎理論の研究４－教材研究②
6	中学校社会科授業の基礎理論の研究５－単元構成
7	中学校社会科授業の基礎理論の研究６－授業構成
8	中学校社会科授業の基礎理論の研究７－評価
9	授業研究１－プレゼンテーション及び授業分析(単元構成の分析)（ICT活用を含む）
10	授業研究２－プレゼンテーション及び授業分析(授業構成の分析)（ICT活用を含む）
11	授業研究３－プレゼンテーション及び授業分析(評価の分析)（ICT活用を含む）
12	中学校社会科授業の理論構築１－プレゼンテーション及び理論構築（単元構成）
13	中学校社会科授業の理論構築２－プレゼンテーション及び理論構築（授業構成）
14	中学校社会科授業の理論構築３－プレゼンテーション及び理論構築（評価）
15	総括（まとめ）

アクティブラーニング				
	A:知識の定着・確認	○	中学校社会科の授業研究および理論研究ができ、結果についてプレゼンテーションができる。	その他の工夫：なし
	B:意見の表現・交換	○		
	C:応用志向	○		
	D:知識の活用・創造	○		

授業時間外学修の内容と想定時間		
	準備学修	授業研究及び理論研究、プレゼンテーションのための事前準備をしておく（25ｈ）。
	事後学修	プレゼンテーションに関する質疑応答について、事後分析をする（20ｈ）。
	想定時間合計	45

教科書	文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説社会編』
参考書	文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）』

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	授業やディスカッション等への取り組み等	40%	○	○	○	○						
	授業分析、理論研究の結果	30%	○	○	○	○						
	プレゼンテーションの結果	30%	○	○	○	○						

注意事項	・社会科の中等の指導法科目の履修については，相互の授業科目について履修済み等の条件はない。ただし，授業内容に関連がある場合があるため，授業担当教員の説明をよく理解しておくこと。
備考	＊この科目は『地域創生教育科目』です。 ・履修者の関心ならびに授業の進捗状況によって、講義内容・計画を変更することがある。
リンク	
	URL
担当教員の実務経験の有無	○
教員の実務経験	小学校、中学校での勤務経験がある。